

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 井上 雅裕

審査委員 山崎 敦子

審査委員 長谷川 浩志

審査委員 間野 一則

審査委員 丸山 智子

*審査委員

| | |
|--|---------------------------|
| 氏 名 | 織田 佐由子 |
| 論文題目 | 理工系人材のグローバル・コンピテンシーの開発と評価 |
| 〔論文審査の要旨〕 本研究は、技術者教育の分野に焦点を当て、実社会で求められる理工系人材のグローバル・コンピテンシーを明確化し、その開発と評価のモデルとなる教育プログラムを提示することを目的としている。 理工系人材のグローバル・コンピテンシーの開発と評価を論じるにあたり、前半と後半の2つのパートで構成されている。前半は先行研究レビューおよび学生調査と国内外での企業調査を踏まえ、実社会で求められているグローバル・コンピテンシーの内容と国際プログラムの効果を検証した。後半では前半で導き出されたグローバル・コンピテンシーを開発し評価するためのモデルとして多国籍・多分野・地域連携 PBL のプログラムデザインとアセスメント手法を開発し、多面的評価を行っている。 本論文では、以上の議論から、理工系人材に求められるグローバル・コンピテンシーを導き出し、その開発および評価のモデルとして多国籍・多分野・地域連携 PBL の有効性を明らかにしている。 本研究の成果として、第一著者査読付き論文3編、第二著者の査読付き論文1編が掲載され、在学中に国際会議で第一著者として2編の論文を発表しており、課程博士（社会人早期修了コース）として学位授与の条件を上回る業績をあげている。 2019年1月17日17時より、博士論文の最終審査（公聴会）を行い、60分の発表の後、質疑応答を行い、次いで、博士論文審査委員全員による審議を行った。博士学位論文は、申請者の国内外での調査、研究と実践に基づいた、信頼性、有用性が高い内容であり、申請者が考案した理工系人材のコンピテンシー・モデルに関しては、そのオリジナリティが高く審査委員から高く評価された。 審査員全員の投票の結果、全委員一致で合格とした。 | |